

朝来市の生んだ児童文学作家

～やさしさおしえてくれたひと～

森はな

「じろはったん」の生みの親



森はなさん



「じろはったん」の原画：
梶山 俊夫



森はなの句碑（法泉寺境内）



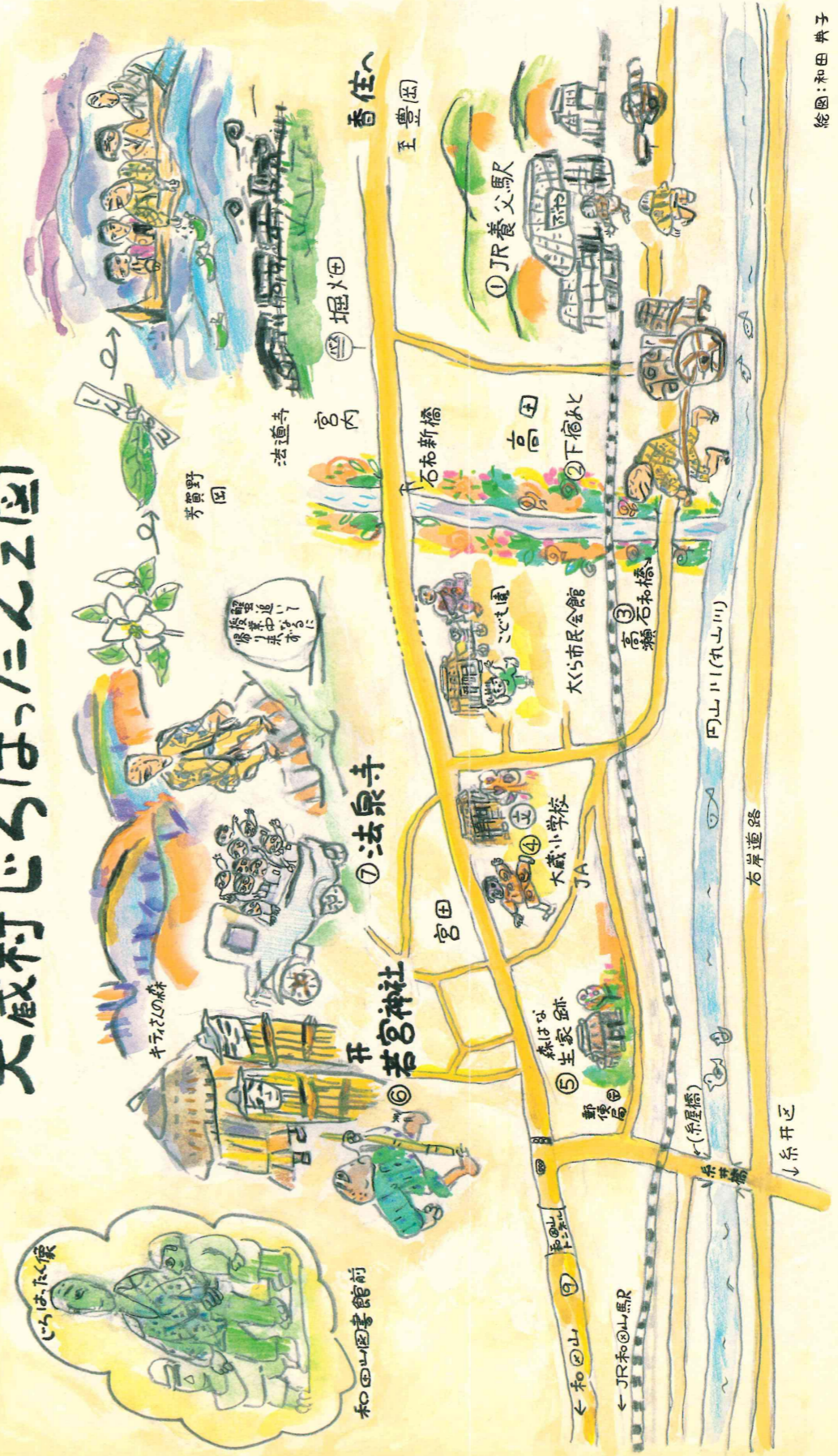
「じろはったん」像（朝来市和田山図書館前）



「じろはったん」の原画：
梶山 俊夫

■お問い合わせ先
朝来市役所
 まちづくり協働部 和田山地域振興課
 〒669-5292
 兵庫県朝来市和田山町東谷213番地1
 Tel : 079-672-6137
 Fax : 079-672-4041

大蔵村じろはったん之図



- ① 養父駅
くやぶい義父〜
「じろはったん」の語り手
はな先生が驛に降り立ちます。
- ② 下宿あと（高田）
- ③ 土橋（石和橋）
じろはったん登場
「おったんよ、わいびが、ひいてるが」
「まじろひくくんやぞ、先生の
荷物やてのつ。」とろろが……
- ④ 大蔵小学校
疎開のこともたちが
通ったと言われる小学校

絵図：和田 典子

⑤ 生家あと（宮田）

敵の大將のワラ人形
〈アスッ アスッ〉
「死んで来た。かわいそつに。」
山吹の花を供えるじろはったん

⑦ 法泉寺

神戸からの集団疎開のじろはったんがくらすと云われる寺。
やさしい和尚さん、村の人びと。そしてじろはったん
兵隊に行く新中んとの別れ…金鐘つき堂の石段
森はなの句碑 『蟹追いて 授業中なるに 帰り来ず』



森はなさん 作品紹介

じろはったん 画：梶山 俊夫

森はなの代表作であり、児童図書
のベストセラーです。
誰よりも純真で温かい心の持ち
主「じろはったん」と村の人々、疎
開してきたこどもたちとの心の交
流を、おばあちゃんが孫に語って
聞かせます。お話に出てくる人
みんなの、温かい心の触れ合い、
心の繋がりが、読む人の心を
温かくします。



牧書店 刊行(1973年)
※現在は、アリス館より、刊行されている。

ひいちゃんとタチアオイの花 絵：梶山 俊夫

タチアオイの花に自分の名前を
付け、どちらが長く花を付けてい
られるか競う遊びが、マキとひい
ちゃんは大好きでした。成長して
別々の道を歩むようになっても、
二人の友情はいっそう深まります。

PHP研究所 刊行(1978年)
※在庫なし・重版未定



こんこんさまにさしあげそうろう 絵：梶山 俊夫

何日も何日も雪が降り続き、
山も畑も真っ白です。暗い穴の中
でお腹を空かせた子ギツネがな
いています。飢えと寒さに震える
子ギツネのために、雪の野原に
食べ物を探しに行く母ギツネの
愛情が、但馬の伝承行事「野行
(のせぎょう)」をもとに描かれ
ています。

PHP研究所 刊行(1982年)



こはる先生だいすき 絵：梅田 俊作

はとが生まれたとき、父親は、平
和の使いのハトのように優しい女
の子に育てほしいと、「はと」と名
を付けて、とても可愛がっていま
した。そんな父親の突然の死によ
り口のきけなくなった「はと」と、
こはる先生の心温まる物語です。

ポプラ社 刊行(1987年)
※在庫なし・重版未定



森はなさんのふるさと



法泉寺

瑞巖山法泉寺は、臨済宗のお寺で、
開創は江戸初期頃です。「じろは
ったん」に登場するお寺とも言わ
れ、春には桜の古木が見事な花を
咲かせ、鐘つ堂を包みます。境内
には森はなの句碑が立っています。



若宮神社

119段の石段を登ると円山川を一
望できる場所にある若宮神社は、
創建時期は不明ですが、豊岩宍命
(とよいわまののみこと)他の神々
を祀っています。「じろはったん」
で、こどもたちがワラ人形を振り
付けて竹やり刺すのをじろはった
んが止め、そつと花をたむけたエ
ピソードは、このあたりが舞台で
あったという話です。

ハナ先生ものがたり 絵：松井 行正

村の分校に、初めて若い女の先
生がやってきます。山奥の分校を
舞台にした、ハナ先生とこどもた
ちとの心温まる物語です。

アリス館 刊行(1975年)
※在庫なし・重版未定



もどってくるもどってこん 絵：若菜 埜

ハナと村のこどもたちは、佐あ
じいが大好きです。ある日、佐あ
じいは「やぶ入り」で村を出て行
ってから、秋になっても帰って
きません。コンペイトウの花を一
つ一つちぎり、「もどってこ、も
どってこん」と占いながら、佐あ
じいの帰りを待ちわぶるハナで
した。

PHP研究所 刊行(1980年)
※在庫なし・重版未定



わたしはめんどりコッコです 絵：梶山 俊夫

アキヒコくんを買ってもらいた
いと思い、アキヒコくんの手をコ
ツコツ突いた、めんどりのコッコ。
そんなコッコが、にしろ家のみ
んなと過ごした愉快な日々を語
る作品です。

金の星社 刊行(1985年)



ギツネとしゅんぺいじいさん 絵：梶山 俊夫

トントンと戸をたたく誰か。しゅ
んぺいじいさんは、そつと戸を開
けましたが誰もいません。お腹
を空かせたギツネだろうと、心優
しいおじいさんは、ギツネのた
めに食べ物置いてあげました。雪
深い山すその一軒家で一人暮ら
すおじいさんとギツネの心の触
れ合いを描いた絵本です。

教育画劇 刊行(1988年)



わたしソエです 絵：梶山 俊夫

こどもの頃のできごとは、大人
になったときに懐かしく思い出
されます。幼い頃、ハナ先生と
過ごした懐かしい日々を、教え
子が語ります。思い出は、優し
くて温かい、心のふるさとです。

アリス館 刊行(1977年)
※在庫なし・重版未定



おばあちゃんは落語屋さん 絵：梶山 俊夫

童心になって、孫たちと語り合
うおばあちゃん。生きていること
を心から楽しんで暮らす「こはる
屋艶しう生おばあちゃん」のお話
です。「おばあちゃんは落語屋
さん」は、カセットテープとして
も発行されました(現在は重版
未定となっています)。

学校図書 刊行(1981年)
※在庫なし・重版未定



ほい二とうげ 絵：梶山 俊夫

村から村へ越すには、長い峠が
ありました。峠の上のささやぶに
住むギツネは、おちよちゃんに
会うことが毎日の楽しみでした。
彼岸花の咲く頃、日暮の峠を越
えて行くおちよちゃんを助けて
あげたいと考えたギツネは…。

PHP研究所 刊行(1986年)
※在庫なし・重版未定



土の笛 絵：梶山 俊夫 補筆：森 俊樹

森はなが亡くなった後、森俊樹
氏(次男)が補筆して出版された、
森はなの最後の作品です。おじ
いさんが目をつむり笛を吹く中、
黙って笛の音に聞き入る「わたし」。
おじいさんが何故陶器の横笛を作
ったのか、何故「湖底の笛」とい
う歌ができたのか、佳奈ちゃん
という少女の目を通して語られて
います。

PHP研究所 刊行(1996年)
※在庫なし・重版未定



※在庫がない書籍については、図書館等でご覧ください。

森はなさんってどんな人？

森はなは、朝来市和田山町宮田出身の
児童文学作家です。養父市、朝来市、
高砂市での32年間の教員生活を経て、
退職後、童話を本格的に執筆しました。

戦前から戦後の但馬舞を舞台に、知
的障害のある青年と村の人々との心
の交流を柔らかな但馬舞で綴った最
初の作品「じろはったん」で日本
児童文学者協会新人賞を受賞し、「遅
咲きの新人」として脚光を浴びまし
た。続いて「こんこんさまにさしあ
げそうろう」で絵本にっぽん大賞を
受賞しました。その後、80歳で亡
くなるまで、ふるさと但馬の風景を
舞台にした物語を多く刊行しました。

森はな文学の根底に流れるのは、「いと
おしむ心」です。人をいとおしむ、
自然をいとおしむ、社会を、そして、
ふるさとをいとおしむ心です。

「じろはったん」は、朝来市立大蔵小
学校の児童により歌物語「じろはた
ったん」として披露され、長年歌い継
がれています。また、ミュージカルや
紙芝居となり、大勢の人々の心に感
動を届けています。森はなが伝え
たかった「いとおしむ心」は、今も
なお、しっかりと受け継がれている
のです。

森はなさん 略歴

- 1909(明治42)年 兵庫県養父郡大蔵村宮田(現 朝来市和田山町宮田)に生まれる
- 1916(大正 5)年 養父郡大蔵小学校(現 朝来市立大蔵小学校)に入学
- 1924(大正13)年 兵庫県明石女子師範学校に入学
- 1928(昭和 3)年 明石女子師範学校卒業。養父郡南谷小学校へ赴任
- 1929(昭和 4)年 養父郡養父小学校(現 養父市立養父小学校)に転任
- 1932(昭和 7)年 大蔵小学校に転任。森種樹と結婚
- 1936(昭和11)年 加古郡荒井小学校(現 高砂市立荒井小学校)に転任。加古川に転居
- 1952(昭和27)年 荒井小学校を退職。助教員として印南郡伊保小学校(現 高砂市立伊保小学校)へ再就職。第1回NHK近畿学校劇コンクールで最優秀賞受賞
- 1960(昭和35)年 伊保小学校を退職。神戸児童文学「あすの会」同人
- 1974(昭和49)年 「じろはったん」第7回日本児童文学者協会新人賞受賞
- 1975(昭和50)年 夫種樹逝去
- 1979(昭和54)年 「ひいちゃんとタチアオイの花」毎日放送(ラジオ)で放送
- 1980(昭和55)年 「じろはったん」毎日放送(ラジオ)で放送。同年度芸術祭ラジオ放送部門で大賞受賞
- 1982(昭和57)年 「こんこんさまにさしあげそうろう」第5回絵本にっぽん大賞受賞
- 1984(昭和59)年 NHK「チャンネル神戸」で「はな先生の童話教室」放送。NHK「おはようジャーナル・おんな西東」で「はな先生は本の先生」放送。第1回加古川文化賞受賞
- 1985(昭和60)年 サンテレビ「ライブラリアンダイ」で「森はな先生の作品を語る」放送
- 1986(昭和61)年 国際ソロプチミストアメリカ連盟より婦人栄誉賞受賞
- 1987(昭和62)年 毎日放送(ラジオ)「おはなしどんぶらこ」に出演。神戸新聞社より第41回平和賞受賞
- 1989(平成 元)年 6月 はな逝去



春開催「じろはったんウォーク」(朝来市和田山町大蔵地区)



秋開催「じろはったん村まつり」(朝来市和田山町大蔵地区)

朝来市立大蔵小学校

1873(明治6)年に設立された大蔵小学校には、森はなが学び、教師として教えた時間が存在しています。森はな作品に感銘を受けた教員たちにより、こどもたちへ「じろはったん」の読み聞かせが行われ、後に曲がつけられ、ラジオドラマや劇となり、森はなの理想とする「いとおしむ心」は伝え続けられています。

百年桜

開校後間もなくして植えられ、大蔵小学校の歴史をずっと見つめ来た桜で、「百年桜」と呼ばれ親しまれています。校庭の環境は古木となった桜には厳しく、近年衰えが目立ち始めたため、樹勢回復と移植事業が行われました。百年桜は今日も、こどもたちを見守っています。



幼少期



7人兄弟姉妹(左端が森はな)